

経済エグゼクティブフォーラムinふくしま
～活力に満ちた地域の持続的発展へ～

主催 株式会社東邦銀行
株式会社福島民報社
福島県商工会議所連合会
株式会社富士通総研
富士通株式会社

後援 福島県

ご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび『経済エグゼクティブフォーラム in 福島』を開催することになりましたので、ここにご案内申し上げます。

当フォーラムは、地域経済活性化と地域力強化に向け、地域を持続的に発展させていくための新たなご提案・ご提言の場として、5団体共催、福島県後援のもとで開催いたします。

今回は、まず「世界の潮流変化と日本の対応」と題して、将来日本を動かす潮流と変化への対応について、地域の視点から富士通総研の安倍忠彦よりご提言いたします。

次に、地球環境問題について「地球環境問題への地域・企業の戦略的対応」と題し、低炭素社会における地域・行政の役割や、企業競争力強化に向けたさまざまな取組みを、富士通総研の生田孝史より、リスクマネジメントや環境ビジネスの視点でご提案いたします。

本フォーラムが地域社会の持続的発展と皆様のビジネス拡大に少しでもお役立ていただければ幸いです。

ご多用の折りとは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご来場賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

主催 株式会社東邦銀行
株式会社福島民報社
福島県商工会議所連合会
株式会社富士通総研
富士通株式会社

後援 福島県

< 開催概要 >

- ◇開催日時 : 2008年9月9日(火) 受付開始: 14:00~
- ◇開催場所 : ホテルハマツ 3階
〒963-8578 福島県郡山市虎丸町3番18号 Tel 024-935-1111 (代)
- ◇参加対象 : トップエグゼクティブ・エグゼクティブの方々
- ◇参加費用 : 無料

< スケジュール >

- | | | | |
|---------------|----------------------------|------------------------|-------|
| 14:30 ~ 14:40 | 開会挨拶 | (株)富士通総研 代表取締役会長 | 高島 章 |
| 14:40 ~ 16:00 | 基調講演Ⅰ『世界の潮流変化と日本の対応』 | (株)富士通総研 取締役 経済研究所研究主幹 | 安部 忠彦 |
| 16:20 ~ 17:20 | 基調講演Ⅱ『地球環境問題への地域・企業の戦略的対応』 | (株)富士通総研 経済研究所主任研究員 | 生田 孝史 |
| 17:20 ~ 17:30 | 閉会挨拶 | 富士通(株) 代表取締役会長 | 間塚 道義 |
| 17:40 ~ 18:40 | レセプション | | |

◇基調講演Ⅰ

『世界の潮流変化と日本の対応』

現在及び将来に向けて生じる世界の4つの潮流変化を読み、日本を動かす潮流に対してどのように対処すべきなのか、これまで日本が培ってきた「強み」をベースに、特に地域社会においてこの変革をどう生き抜くべきかを、様々な視点からご提示いたします。

【講師プロフィール】

(株)富士通総研 取締役 経済研究所研究主幹 **安部 忠彦** (あべ ただひこ)

1978年 東京大学大学院理学系修了、2004年 学術博士(金沢大学)取得。三菱マテリアル、長銀総合研究所を経て現在、(株)富士通総研 取締役 経済研究所研究主幹および立教大学大学院特任教授を兼務。これまで、企業における技術経営、国、地方自治体の科学技術政策、産業構造変化(空洞化問題、国際分業問題、競争力問題)、サービス・サイエンス、サービス・イノベーションの研究等に従事。

□委員等

サービス・イノベーション人材育成推進委員会委員(文部科学省)
サービス科学・工学の推進に関する検討委員会委員(文部科学省)
エレクトロニクス競争力研究会委員(経済産業省)

□主な著作

『MOTテキストシリーズ』(2004~2005)(丸善、共著)
『情報化と経済システムの転換』(2001)(東洋経済、共著)
『新リーディング「産業」が日本を変える』(2000)(日本プラントメンテナンス協会、単著)
『空洞化する産業しない産業』(1996)(東洋経済、共著) など

◇基調講演Ⅱ

『地球環境問題への地域・企業の戦略的対応』

地球環境問題は、今後人類・世界が取り組むべき最重要課題となっており、低炭素社会に向け、行政機関や民間企業が相互に連携し、責任を果たしていかなければなりません。この講演では、地球環境問題に対応するために考慮すべき国内外の政策・市場動向と、先進的な地域の取り組みや環境ビジネスの事例を示しながら、地域の活力向上や企業の競争力強化を図るための戦略的な方策をご提案いたします。

【講師プロフィール】

(株)富士通総研 経済研究所主任研究員 **生田 孝史** (いくた たかふみ)

1990年 東北大学大学院修士課程修了(生物学)、同年 長銀総合研究所入社。98年米国デラウェア大学環境・エネルギー政策研究センター修士課程修了。同年富士通総研入社。現在に至る。研究領域は、環境・エネルギー政策、環境・CSR関連事業経営戦略など。

□最近の主な寄稿

「排出権取引：市場整備進み、関連ビジネスが拡大」、「CO₂市場：温暖化対策の「儲かる市場」」、「独自制度に走る『石原都政』の風穴」、「日本企業のCSR調達の現状」、「中国・アジア市場におけるCSR普及の潮流」

< 富士通総研 [沿革] >

◇経営理念

広く社会全体のお役に立てるシンクタンクとして、常に世の中の先を見つめた提言・提案を行い続け、次なる世紀への「パラダイム・ナビゲーター」を目指す

◇沿革

1986年	富士通システム総研設立
1990年	コンサルティング部門を創設
1996年	経済研究所創設
1997年	富士通総研に社名変更
2003年	社長 長谷川展久 就任
2004年	会長 高島章 就任
2007年	富士通のコンサルティング機能を富士通総研に統合